教育心理学科　学科報

Tea time

Trust Each other And Take Information on Mutual Enrichment!

就実大学 教育学部教育心理学科
2023年2月1日発行
〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1
TEL.086-271-8111(代表)
Mail:shinri@shujitsu.ac.jp
Vol.12

学科長より

教育心理学科長　鈴木 国威

皆さん、こんにちは。原稿を書いている日は2022年11月23日ですが、未だにコロナの収束には長い道のりがあることを予感させ、また海外の情勢においても戦争が収まっていない状況であります。このような状況下では、否応なしに私たちの将来に不安を持ち、また存在の不確さを意識せざるをえないと思います。

教育心理学科の教育目標には、「多角的な視点」があります。「支えケアする」という用語に惹かれている学生は多い（学生からはよく聞きます）ですが、こちらの文言に着目し、それを明示的に言及している学生は出会ったことがありません。おそらく「多角的な視点」というものがなかなか想像しにくいものだからだと思います。しかしながら、私たち自身が、己自身のことを考える際には、一見、己自身の視点のみで達成できそうですが、最終的には多角的な視点が必要になってくるでしょう。ぜひ考えてみてください。

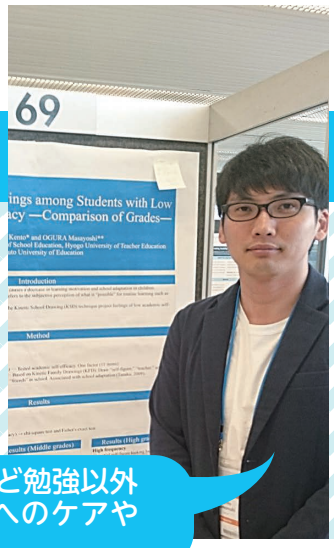
入学式

1年　北　陽菜

4月1日(金)、入学式は学科別に分散して開催されました。式当日は新たな環境への期待と不安を胸に抱えながら、大学へ向かいました。先生方一人一人の自己紹介の際、マイノリティやアイデンティティの話など、小中高ではあまり飛び交わないワードが次々と出てきて、大学生になった実感とこれから心理学についてたくさん学んでいけるというワクワクに胸が高まりました。入学式では、これから一緒に学ぶ同級生の雰囲気を感じたり、話すことができたりと対面で関わりあうことがとてもうれしかったことが印象に残っています。これから、同じ教育心理学科の仲間と共に学びを積み重ね、ともに努力し、楽しむことができればと思っています。４年間どうぞよろしくお願いします。

新任教員紹介 by 学生インタビュー

助教 山西 健斗 先生　専門：臨床心理学　インタビュアー：植松杏稀・川端里和



山西先生は、アルバイトで勉強が苦手な子どもたちと関わったことをきっかけとして、どのような職種に就けば子どもたちのサポートができるのか考えた結果、心理職に就かれ、その後、本学の助教として着任されたそうです。また、この出来事がきっかけで「勉強が苦手な小中学生に心理学的な立場からどのようなサポートができるのか」ということについて研究されています。

好きなことは主に漫画を読んだり，ゲームをしたりすることで，それらを通して自分自身のことや子どもたちの中で今どんなことが流行っているのかを考えるそうです。

先生からの一言

大学は主に勉強をする場になりますが、アルバイトやサークルなど勉強以外のことでも色々な経験をすることが大切です。そのために自分へのケアや健康管理を欠かさないようにしてほしいと思います。

研修旅行（4月）

1年　田中絢菜

私たち、教育心理学科一年生は研修旅行で大塚国際美術館に行ってきました。朝から晴天に恵まれ、バスから見る瀬戸内海はとても綺麗でした。昼食は、日本一渦潮に近い道の駅「うずしお」でしゃぶしゃぶを〝黙食〟で頂きました。昼食後は、少し自由時間があったので、お土産を買ったり、海を眺め渦潮と鳴門大橋をバックに写真を撮ったり、潮風でリフレッシュすることができました。その後、大塚国際美術館へ移動し、クラス毎に鑑賞しました。有名な作品と担任の先生やクラスメイトと写真を撮るなどしながら、世界の美術作品を楽しんできました。研修旅行を通じて初めてクラスで活動することができ、話しをしたたことがなかった同級生とも交流することができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

新入生歓迎懇親会（4月）

1年　吉岡　萌

5月18日(水)に新入生歓迎懇親会が開催されました。SEPの先輩方がリードして歓迎会を進めてくださり、バースデーラインでは、クラスの枠を超えて新入生同士関わることができたと思います。また、絵しりとりなどのクラスで協力するゲームでは、お互いに積極的にコミュニケーションを取り、同じクラスの人たちとより仲良くなることができました。特にビンゴゲームでは盛り上がりをみせ、イヤホンや商品券などの豪華な景品に目を輝かせながら、楽しさや嬉しさを分かち合えたと思います。

コロナウイルスの影響により制限されることが多い毎日ですが、そのような状況の中でも、日々ともに勉強に励む友と笑顔の絶えない時間を過ごすことが出来ました。

キャリア・就心会共催講演会（11月）

2年　木村怜愛

令和４年度のキャリア・就心会共催の講演会は、キャリア・コンサルタントとして幅広く活動されている磯﨑紀夫先生をお招きし、「大学時代に将来のキャリアについて考え準備しておくべきこと」と題してご講話いただきました。

働く目的や将来に向けてすべきこと、就職活動についてのお話を伺い、今から将来に向けて考え、準備しておく大切さをとても感じました。自己理解が仕事につながること、就職活動を行う上での経験的要素の重要性、なりたい自分になるためには行動に移すといった様々なことを学びました。

今回の講演会で学んだことをこれからの大学生活に活かし、なりたい自分に近づけるよう、今の時間を有意義に使いたいと思います。

学生活動紹介

オープンキャンパスレポート

2年　藤村夏帆・1年　宮西美咲

私たちはオープンキャンパスの取材に行ってきました。 オープンキャンパスでは、学科ガイダンス、ミニ講義、先輩に聞く！学科別相談コーナーを行っています。7月16日開催のミニ講義は本学科石原みちる先生による「心理学っておもしろい？」というテーマでした。講義では間違った心理学の知識、そして、身近な心理学の応用場面や大学で学ぶ“学問としての心理学”について、ミニ実験やクイズを交えながら行われ、高校生は高校の授業とは異なった大学での学びを楽しみながら体験している様子が伺えました。

ガイダンスとミニ講義後は、「先輩に聞く！学科別相談コーナー」が開催され、教育心理学科では毎年「ハートカフェ」として教育心理学科在学生と大学院生の有志が高校生を迎えお話しをしているそうです。ハートカフェでは学生の活動の写真展示、在学生のノートや利用している教科書なども展示され大学でどんな学びがあるのか高校生についてわかりやすく伝えられるよう工夫がなされていました。スタッフ一人一人が高校生の素朴な質問に丁寧に応じながら楽しく談笑している様子はとても印象的でした。

なでしこ祭　2022なでしこ祭～３年ぶりの対面開催～

1年　岡田結衣

なでしこ祭が約３年ぶりに対面開催され、とてもワクワクしながら参加してきました。今年のゲストは、鈴鹿央士さん、四千頭身さん、東京ホテイソンさん、大西ライオンさん、あばれる君でした。ライブ会場ではとても多くの学生が参加していて、とても賑やかでした。学内では、サークルや部活動などの催し物があり、私は茶道部による茶会に立ち寄ってみました。落ち着いた雰囲気の茶室でお茶を点てて頂き、茶菓子とともに美味しく頂くことができました。茶室や作法などの説明もあり、とても良い経験ができました。屋台ではチュロスやイカ焼き、焼き鳥、フライドポテト、魯肉飯、カフェなどが出店されており、おなかも満たされ、友人らととても楽しく過ごせました。来年はもっと盛大な学園祭になるよう願っています！

球技大会

2年　髙桑明日香

11月2日に球技大会が開催されました。SEPの先輩方が企画してくれ、ドッジボール、ポートボールを行いました。どのチームも優勝目指して全力に競技に取り組んだり、他のチームを拍手で応援したり、学年、性別問わず競技はとても盛り上がりました。コロナ禍の影響で大人数で集まることが難しくなっている中で、久しぶりにわいわいとふれあいながらスポーツができました。学年を超えた教育心理学科の縦のつながり、横のつながりがさらに深くなったイベントでした。

授業紹介

小児保健（森口先生）　2年　久山紗季

『小児保健』では、講義と事例検討、実習などの体験を踏まえながら保健行動、養育方法の理解を深めています。本科目では、子供独自の発育・発達の特徴を理解し、支援を必要とする子供一人一人にどのように寄り添うべきかを学ぶことができます。授業の中には、復学支援によって子供が復学した経験を持つ保護者から貴重なお話を伺う機会がありました。長い闘病生活を経て大きな不安を抱えて学校に復学をする際に、その支えとなったのが養護教諭の存在だったそうです。その際の養護教諭がとった支援内容や対応について直に聞くことができ、丁寧に寄り添った支援を行うことの大切さを感じとることができました。

産業・組織心理学（堀田先生）　2年　中野　凜

「産業・組織心理学」は、組織における個人や集団の心理特性、および行動特性について学ぶことを目的とした講義型の授業です。この授業では、ワークモチベーションやリーダーシップといった、組織に所属して働く上で重要な事柄について理解を深めることができます。また、人事評価などの人的資源管理、職場におけるストレスマネジメントといった、社会人として必要な知識を身に付けることも可能です。私自身も実際受講してみて、社会に出て役立つ知識を多く学ぶことができたと感じています。この授業で学んだことを活かして、将来社会で活躍できるように努力していきたいと考えています。

教員の研究紹介 by 学生インタビュー

准教授 森村 和浩 先生　1年　中山　茜

森村先生は、人の体の働きや運動、それらが身体とこころ（脳）の健康に与える影響について研究されているそうです。研究するきっかけは、大学時代のゼミの恩師に、人の身体は運動の行い方一つで変わる、生活習慣病もこころの病気も薬を使わず治すことができるはず、一緒に研究してみないかと誘われたことが、このような研究をするきっかけになったそうです。

研究を通じて学校や高齢者、有疾患者など色々な関わりの中で元気に、そしてイキイキとしていく姿が見られたとき、また、運動の効果を実感して感謝の言葉がもらえた時はとてもやりがいを感じるのだそうです。

今後も運動と身体と心の健康については、未知なことが多いので興味を持ちながら多様な観点で研究を続けていきたいそうです。

興味がある方はぜひ研究室へお越し下さい。とのことでした。

先生からの一言　どんな些細なことでも興味や疑問を持ったことに対して行動を起こして下さい。それが将来への土台となり、成長や成功のきっかけになるはずです。

実習大特集

看護学臨床実習・養護実習

養護実習

3年　樋口円香

実習の準備や実習当初は緊張もあり不安でした。しかし、実習校の先生方が丁寧にご指導してくださったこと、そして何より子どもたちが温かく学校に迎え入れてくれたことで、多くの学びと発見を得ることができました。これまで大学で学んできたことと実際の学校現場での取り組みを結び付け、理解を深めることができたと感じています。また、実習の中で初めて知ることもあり、知識や考え方の幅を広げることもできました。

実習中は悩むことも多く毎日必死でしたが、実習校の先生や大学の先生、友人、家族のサポートがあったことで無事に終えることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。実習で得たことを大切にして、これから子供を見守ることのできる養護教諭になれるように頑張っていきます。

看護実習

4年　海江田実咲

コロナ禍のためリモート学習も活用した実習となりました。残念ながら病院での実習はできませんでしたが、感染管理特定看護師、特別支援学校で勤務経験のある養護教諭の先生方からのお話は、新たな知識習得や発見ができる機会でした。特に養護教諭として働くうえでの体験を交えた講話は、私たち学生にとって、より現場の働き方をイメージすることができました。また看護技術の実習は、胃ろうや吸引など生命の維持に関わる内容や技術を学びました。その中で、養護教諭は子どもの命を預かるとても責任ある職であることを再認識しました。実習を通し、子どもの気持ちに寄り添える養護教諭になりたいと強く思いました。貴重な機会を与えてくださった先生方、お忙しい中、講話をしてくださった方々に深く感謝致します。

心理実習

心理実習

3年　深瀬千暁

心理実習では、心理教育相談室、岡山中央児童相談所、岡山EAPカウンセリングルーム、岡山少年鑑別所など、様々な領域で働く心理専門職の方のお話をうかがい施設の見学や、心理検査、相談対応の体験などをさせていただきました。実習を通して実際の現場での心理職の業務や、それぞれの領域で求められるスキルや職業倫理について理解を深めることができました。

岡山市児童生徒支援教室では5日間の関与観察実習を行い、不登校などの問題を抱える子どもたちとの関わりの中で、心理職の方の視点や自分自身の課題を知ることができました。実習で得た貴重な学びを活かせるように今後も努力を続けていきたいです。

養護実習へ行ってきました！

養護実習に行ってきました！
就実大学 教育学部教育心理学科 養護実習指導Aチーム
2022年11月30日発行
令和４年度養護実習が無事に終了しました！
保健指導
健康診断
実習の様子
掲示物
保健だより

養護実習に行ってきました！
就実大学 教育学部教育心理学科 養護実習指導Bチーム
2022年11月30日発行
☆令和4年度養護実習が無事に終了しました！

養護実習へ行ってきました！
就実大学 教育学部教育心理学科 養護実習指導Cチーム
2022年11月30日発行
令和4年度養護実習が無事に終了しました！

●学科の実習スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
養護教諭一種免許状	3年次						養護実習（4W）						
	4年次	看護臨床実習（2W）※2021年12月から2022年12月にかけて分割して実施											
公認心理師	3年次			心理実習Ⅰ					心理実習Ⅱ				
	4年次												

養護実習報告会

2年　森野真緒

11月30日に養護実習報告会がありました。今年も新型コロナウイルスの影響で２年生はオンラインでの参加となりました。先輩方が実習に参加した時に行ったことや保健指導の内容、掲示物作成などで工夫したことなどを一人一人詳しく聞くことが出来ました。先輩が実習中に大変だったことや学んだことから後輩に向けてアドバイスも下さり、とても有意義な時間になりました。この養護実習報告会に参加して養護教諭になりたいという想いがよりいっそう強くなりました。実習に向けて万全に準備して臨みたいと思います。

心理実習報告会

2年　鳥居万椰

心理実習報告会は、公認心理師の資格習得を目指す教育心理学科の３年生が、学外の様々な施設に実習に行き、そこで学んだことを発表する場です。

今年度は、新型コロナウイルスの感染者数が再度増加したこともあり、実際に施設見学を行うことが難しいこともあったようですが、各施設の先生方のお力添えもあり、それぞれの施設の役割や職務内容について有意義に学ぶことができたようです。

教員採用試験体験報告会

1年　新谷　唯

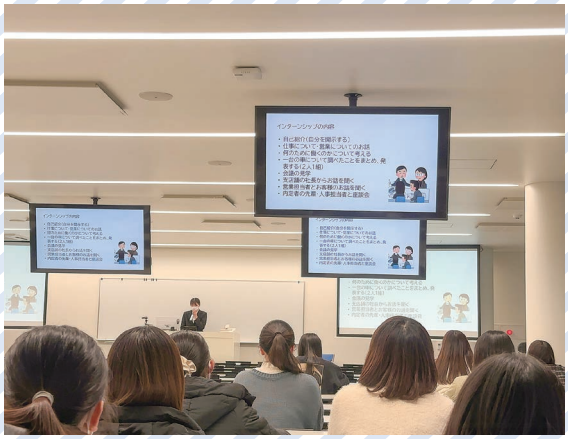
12月７日に開催された教員採用試験報告会・交流会に参加しました。参加して、教員採用試験のために勉強することは、１年生の私たちが想像しているよりも大変だということを実感しました。ただ，そのような中でも、勉強していくにあたって「自分と周囲の人を比較しないこと」「自分なりの勉強方法を確立すること」「適度に休憩すること」が重要であるということを学びました。今回の教員採用試験報告会・交流会に参加することで１年生の時から、教員採用試験について様々なことを知ることができたので、本当に参加してよかったと思いました。

一般就職・インターンシップ報告会・交流会

2年　礒部梨里子

一般就職・インターンシップ報告会・交流会が12月14日に行われました。この報告会・交流会はインターンシップに参加した３年生と就職活動を終え内定した４年生によるキャリア情報交換会です。報告会では、一般就職に向けてそれぞれの体験や学んだこと、準備のためのアドバイスなど詳しく就職活動について知ることができました。まだ、将来について、またインターンシップや就職に対してはっきりとしたイメージができていない私たち１・２年生にとって「何から始めたらいいのか」、「どんな行事に参加した情報を集めればよいのか」先輩たちのメッセージは心強くとても参考になりました。

将来についてイメージできなくても、興味が沸かない状態でも、まずは、参加してみること、行動に移すことが将来のために大切なことだと教わりました。



就職体験記

今年度卒業する教育心理学科９期生の就職体験記です。
大学で学んだことを活かし、それぞれ社会で活躍されることを期待しています。

教員採用試験

何度も何度も仲間たちと繰り返し勉強し、練習すること、そして、先生方から専門的なアドバイスを頂きながら対策をすることが大事だと感じました。

柳　香穂　養護教諭（広島県）

私は養護教諭になることを目指してきました。教員採用１次試験に向けて毎日勉強を続けてきましたが、なかなか集中できない時や焦りを感じる時もあり不安は募るばかりでした。そんな時は、友達と話したりオンラインで繋がって一緒に勉強したりして、息抜きやモチベーションを上げ精神的にも支え合ってきました。２次試験では、面接や実技、模擬授業の対策のため友達と何度も繰り返し練習し、お互い高め合い励まし合ってきました。また、先生方にもたくさん相談し、専門的なアドバイスを頂きました。

私がこの度、教員採用試験（養護教諭）に合格できたのは、ご指導してくださった先生方、そして何より共に協力し合える仲間たち、いつも支えてくれた家族がいたからです。

就実大学教育心理学科で学ぶことができたこと、支えてくださった方々、共に頑張った仲間、全てのこと、人たちへの感謝の気持ちを持ち続け、養護教諭として子どもたちのために努力していきたいと思っています。

一般企業就職

自己理解や自己分析を通じて興味のある職種や業種に活かすことができました。将来について大学での学びや試行錯誤してチャレンジすることが大事なことだと思いました。

松本　遥　情報処理（株式会社両備システムズ）

一般企業就職については、自分が興味のある分野を探し、自己理解・自己分析を通して志望企業を絞りました。キャリアセンター、友人、家族、先生と周囲の人のサポートを得ながら、将来について具体的に試行錯誤を重ねました。

私は、心理士を希望して入学しましたが、もっと視野を広げて、より多くの経験をしたい気持ちが強まり、一般企業就職の道を選びました。一般企業は幅広く業種があるため、徹底的に自己分析と企業分析を行いました。インターンシップに10社ほど参加して、自分の「できること」と「やりたいこと」を照らし合わせながら絞っていきました。３年生の８月から参加し始め、本格的に就職活動に取り組んだのは12月頃からでした。

就職活動で大切だと思ったことは、自己理解を深めることです。他者と比較され、自分を見失いそうになることもありますが、自分をしっかり持ち、自分を大切にすることで自信につながっていくと思います。

本学科で学んだ心理学は、面接や説明会での傾聴の姿勢、自己分析を言語化することなどにとても役立ちました。現代社会ではコミュニケーション能力をかなり求められます。そんな中、大学で学んだ心理学の知識は役立ったと感じています。

就職活動は、メンタルとの勝負になってくるかもしれません。自分らしさを忘れずに、「やりたいこと」を目指して一歩ずつ進んでみてください。自分の将来のために、自分を大切にしながら頑張ってください！

大学院進学

様々な授業を通じて，大学院進学を決意しました。大学院進学のための準備には家族や友人はもちろん，先生方にもアドバイスしてもらいました。

澤　志緒理　（就実大学院教育学研究科教育学専攻教育臨床心理学コース）

私は３年次から心理施設のアルバイトに取り組み、心理実習を通して本大学院進学を志すようになりました。４年次からは大学院入試に向けて、英語対策として先生方に長文の添削授業を、大学院の先輩方には過去問や専門科目対策の勉強会を開いていただきました。普段の勉強は、集中できる大学施設を使って行っていました。参考書や過去問を使ってインプットとアウトプットを繰り返しながら、合格した後のことを考えたり友達と支えあったりして気持ちを保つよう心掛けました。大学院進学は決して１人で乗り越えたものではないことを実感しています。支えて下さった先生方、先輩方、ともに切磋琢磨した友達の存在があったからこそだと思っています。今後は、大学院でのより実践的な講義や実習、アルバイトなどさまざまな活動を通して積極的に自己研鑽に励み、自分が弱みとする点を強みに変えるべく努力し、多くの人の支えとなるような、人の心に寄り添うことのできる心理専門職を目指したいと考えています。

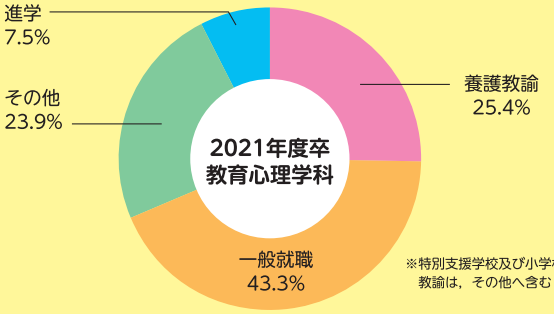
大学院進学を検討している後輩の皆さん、勉強が思うようにいかないことも、進路に悩むことも多々あるかと思いますが、受験は独り相撲ではありません。時には友達や先生に相談して、決して一人でないという気持ちで、一日一日を大切に過ごしてください。応援しています。

教員採用試験結果・2021年度 進路内訳

令和４年度実施養護教諭採用試験19名合格！（2022年11月末時点）

令和４年度実施公立学校教員採用試験（養護教諭）２次試験に４年生10名が合格。
また、教育心理学科卒業生も９名が合格。

合格自治体*：岡山県、岡山市、香川県、広島県・市、島根県、山口県、高知県、兵庫県、静岡県、大阪市　＊過年度卒業生を含む。



※特別支援学校及び小学校教諭は，その他へ含む

https://www.shujitsu.ac.jp/department/kyouiku/kyouikushinri/

令和4年度学業奨励賞

令和４年度学業奨励として、
９名が学業奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

４年生 左から
横山詩萌さん
若井詩月さん 河原奈那さん

３年生 左から
樋口円香さん
金谷　恵さん 黒瀬睦稀さん

２年生 左から
井登菜々美さん
上田歩未さん 山口由夏さん

学生表彰

木村怜愛さん（２年）

おもちゃ王国のインラインスケート体験コーナーをきっかけにインラインスケートを始める。12歳の時にフリースタイルスケート大会に初出場、現在は国際大会でも活躍中。本学科で勉強をしながらインラインスケートデモチームALIVEに所属し普及活動も行っている。

2022年競技成績

World Skate Games Argentina 2022　クラシックスラローム（以下CS）シニア女子部門　第７位、スピードスラローム（以下SS）シニア女子部門　第７位、バトルスラローム（以下BS）シニア女子部門　第５位入賞

2022 Chuncheon Leisure Sports Festival　CSシニア女子部門　第２位、SSシニア女子部門　第２位、BS女子部門　ベスト8

第11回全日本フリースタイルスケート選手権大会　CSシニア女子部門　第２位、SSシニア女子部門　第２位、BSシニア女子部門　第２位

岡山心理学会第70回大会が就実大学で開催されました！

２年　大森　優

11月26日(土)に岡山心理学会第70回大会が本学で開催され、初めて参加してきました。
午前のポスター発表では参加者が興味を持った分野について発表者に気軽に質問をし、楽しそうに交流している場面が多く見られました。研究発表でとり扱われている内容は、「犯罪」「性格」「家族関係」「筆跡」など、人の行動や関係から多様な形で心理学的にアプローチ、解明しようとする点は、とても興味深いもので大変勉強になりました。
午後の講演会では、「ヤングケアラー　精神科医の視点から」と題した講演でした。ヤングケアラーとは何か、どのような支援が必要であるのか、などを精神科医の立場からの捉え方、自身が担当したクライアントの事例なども交えながら解説され、「ケアする」ことについて深く考える貴重な機会となりました。本学でこのような機会があればまた参加してみたいと思いました。

2022年教育心理学科ニュース

- 石原みちる教授の記事が山陽新聞に掲載されました。
（『桜咲かそう頑張る受験生へ』「成功思いだし前向きに」、「本人の気持ちにより添って」（２月19日、２月20日付、山陽新聞）
- 森口清美准教授らが中心となって学生らとともに若年性認知症の会『はるそら広場』を開催（７月より第４水曜日）
- 林秀樹講師が翻訳した『トラウマを抱える子どものこころを育むもの』出版されました。（９月20日出版、誠信書房）
- 森村和浩准教授が幼児・小学生を対象に親子ふれあいタイム「ミニツクかけっこ教室」を行いました。（10月１日）
- 井芹聖文准教授が2022年度後期吉備創生カレッジで『「親には内緒」への関わり方～秘密への心理学的アプローチ～』と題した講義を行いました。（10月19日）
- 井芹聖文准教授が岡山県警察犯罪被害者等カウンセリングアドバイザーとしての功労に対して感謝状が授与されました。（10月25日）
- 石原みちる教授が岡山一宮高校で出前講座「ストレスとうまく付き合おう」を行いました。（10月31日）

2022年度　教育心理学科　行事報告

４月１日	入学式・学年はじめ
4月2日～8日	オリエンテーション
４月11日	前期授業開始
４月22日	研修旅行(大塚国際美術館)
５月18日	新入生歓迎会(SEP活動①)
６月19日	オープンキャンパス(ハイブリッド形式)
7月16日･17日	オープンキャンパス(ハイブリッド形式)
７月30日	キャリア・就心会 共催講演会 「大学時代に将来のキャリアについて考え準備しておくべきこと」
8月20日･21日	オープンキャンパス(ハイブリッド形式)
９月17日	教育・就職懇談会
９月21日	後期授業開始
10月15日･16日	第57回就実大学・就実短期大学なでしこ祭
11月２日	岡山心理学会第70回大会(大会長：石原みちる)
11月24日	大学院入試(心理)合格体験報告会
11月25日	球技大会(SEP活動②)
11月30日	養護実習報告会(ハイブリッド形式)
12月７日	教員採用試験報告会・交流会
12月14日	一般就職・インターンシップ報告会・交流会
１月20日	就心会会員企画『心理職を囲む会』
２月上旬	第９回卒業研究オープン発表会(分散開催)
３月11日	オープンキャンパス
３月20日	卒業式

就心会記事係：礒部梨里子、大森　優、木村怜愛、久山紗季、鳥居万椰、中野　凜、髙桑明日香、藤村夏帆、森野真緒(2年)
植松杏稀、岡田結衣、川端里和、北　陽菜、新谷　唯、田中絢菜、中山　茜、濱井侑花、宮西美咲、吉岡　萌(1年)
広報委員：山西健斗、石井佳葉、森村和浩、永田　忍、森　宏樹

https://www.shujitsu.ac.jp/department/kyouiku/kyouikushinri/